



# 平成29年6月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

平成29年5月12日

上場会社名 ペプチドリーム株式会社  
コード番号 4587 URL <http://www.peptidream.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 窪田 規一

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 関根 喜之

TEL 03-6262-6061

四半期報告書提出予定日 平成29年5月15日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成29年6月期第3四半期の業績(平成28年7月1日～平成29年3月31日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第3四半期	1,417	47.1	107	93.0	235	83.5	164	83.2
28年6月期第3四半期	2,681	400.7	1,541		1,456		977	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第3四半期	2.88	2.53
28年6月期第3四半期	17.65	15.18

### (2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
29年6月期第3四半期	11,046	10,454	10,454	10,242	94.6
28年6月期	11,956	10,242	10,242		85.6

(参考)自己資本 29年6月期第3四半期 10,452百万円 28年6月期 10,237百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期		0.00		0.00	0.00
29年6月期		0.00			
29年6月期(予想)				0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成29年6月期の業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

平成29年6月期の業績予想につきまして、当社の経営・業績目標は複数の会計年度にわたるものが多く、単年度の業績数値として予測することは著しく困難であります。そのため、平成29年6月期から業績予想の数値を公表することを差し控えることといたしました。

なお、投資家による分析に資することを目的として、平成28年8月9日付で公表いたしました「平成28年6月期 決算短信(日本基準)(非連結)」の3ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析(1) 経営成績に関する分析、次期の見通し」において、平成29年6月期の見通しに係る情報を記載しております。また、平成30年6月期以降の「中期の見通し」についても記載しておりますので、併せてご参照ください。

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更	: 無
以外の会計方針の変更	: 無
会計上の見積りの変更	: 無
修正再表示	: 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年6月期3Q	57,309,200 株	28年6月期	56,440,800 株
期末自己株式数	29年6月期3Q	75,100 株	28年6月期	
期中平均株式数(四半期累計)	29年6月期3Q	57,115,504 株	28年6月期3Q	55,346,822 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成29年6月期の業績予想につきまして、当社の経営・業績目標は複数の会計年度にわたるものが多く、単年度の業績数値として予測することは著しく困難であります。そのため、平成29年6月期から業績予想の数値を公表することを差し控えることいたしました。

なお、投資家による分析に資することを目的として、平成28年8月9日付で公表いたしました「平成28年6月期 決算短信(日本基準)(非連結)」の3ページ「1. 経営成績・財政状態に関する分析(1) 経営成績に関する分析、次期の見通し」において、平成29年6月期の見通しに係る情報を記載しております。また、平成30年6月期以降の「中期の見通し」についても記載しておりますので、併せてご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（平成28年7月1日から平成29年3月31日まで）において、当社独自の創薬開発プラットフォーム・システムであるPDPS（Peptide Discovery Platform System）を活用した、国内外の製薬企業との共同研究開発活動は順調に進捗しました。

平成28年9月には、帝人ファーマ株式会社との間で平成27年9月に始まった創薬共同研究開発プロジェクトにおいて見出された特殊環状ペプチドが、最初のクライテリア（共同研究開発先とそれぞれ合意している生物活性及び物性等の基準の総称）を満たし、マイルストーンフィーを受け取っています。

平成28年12月には、スイス・ノバルティス社との間で平成25年3月に延長された創薬共同研究開発プロジェクトから見出された特殊環状ペプチドが、クライテリアを満たし、マイルストーンフィーを受け取りました。

平成29年3月には、塩野義製薬株式会社との間で平成28年2月に始まった創薬共同研究開発プロジェクトから見出された特殊環状ペプチドが、最初のクライテリアを満たし、マイルストーンフィーを受け取りました。また、同月には、米国ブリistol・マイヤーズ スクイブ社との共同研究開発プロジェクトから5つ目のリードペプチドを獲得し、当社はマイルストーンフィーを受領しました。

PDPSを非独占的にライセンス許諾する契約については、平成28年7月に米国ジェネンテック社に対して当社独自のPDPSを非独占的に技術ライセンス許諾することで合意しました。これにより、ジェネンテック社は自社内において特殊環状ペプチド創製を行うことが可能になりました。

また、直ちに収益にはつながらないものの、平成28年8月には、国立大学法人東京工業大学（以下「東工大」といいます。）との間で、スーパーコンピュータTSUBAME 2.5を利用した特殊ペプチド創薬向けインシリコ技術の開発に関する共同研究契約を締結しています。この本契約では、当社が保有・取得する特殊環状ペプチドに係る大量の実験データを基盤として、東工大が保有するスーパーコンピュータTSUBAME 2.5及び計算科学、機械学習・人工知能技術を活用して、インシリコ予測技術を確立することを目指しています。

同様に売上は発生しておりませんが、平成29年2月には、第一三共株式会社との創薬共同研究プロジェクトにおいて、当社創製のリードペプチドを基に最適化された化合物が、同社によって開発候補化合物として確定されました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は1,417,349千円（前年同四半期比1,264,141千円減少）、営業利益107,899千円（前年同四半期比1,433,408千円減少）、経常利益239,865千円（前年同四半期比1,216,149千円減少）、四半期純利益164,512千円（前年同四半期比812,545千円減少）となりました。

なお、当社の事業は単一のセグメントであるため、セグメント別の記載を省略しています。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①財政状態の分析

当第3四半期会計期間の総資産は11,046,805千円となり、前事業年度末と比べて909,596千円減少しました。その主な要因は、建設仮勘定が1,730,649千円増加したものの、現金及び預金が1,680,830千円、売掛金が1,336,706千円減少したこと等によるものです。

負債は592,242千円となり、前事業年度末と比べて1,121,402千円減少しました。その主な要因は、未払法人税等が729,304千円、前受金が156,310千円、未払費用が162,413千円減少したこと等によるものです。

純資産は10,454,562千円となり、前事業年度末と比べて211,806千円増加しました。その主な要因は、自己株式を430,869千円計上したことにより減少したものの、四半期純利益164,512千円の計上、資本金が240,585千円、資本剰余金が240,585千円増加したことによるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況の分析

当第3四半期累計期間における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ1,680,830千円減少し、5,228,319千円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期純利益239,577千円の計上、売掛債権の減少額1,336,706千円等の収入があったものの、法人税等の支払額1,161,937千円、前受金の減少額156,310千円、未払費用の減少額162,413千円等により、129,367千円の収入（前年同四半期比438,089千円の収入減少）となりました。

### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出1,847,197千円、無形固定資産の取得による支出20,738千円等により、1,872,635千円の支出（前年同四半期は767,385千円の収入）となりました。

### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出430,869千円があったものの、新株予約権の行使による株式の発行による収入476,449千円により、45,580千円の収入（前年同四半期比1,026,899千円の収入減少）となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年6月期の業績予想につきまして、当社の経営・業績目標は複数の会計年度にわたるものが多く、単年度の業績数値として予測することは著しく困難であります。そのため、平成29年6月期から業績予想の数値を公表することを差し控えることといたしました。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

1. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成29年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,909,149	5,228,319
売掛金	1,400,938	64,231
前払費用	57,934	62,656
繰延税金資産	194,410	126,081
その他	36,698	496,534
流動資産合計	8,599,130	5,977,823
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備（純額）	33,544	10,011
工具、器具及び備品（純額）	320,536	319,489
土地	1,000,000	1,000,000
建設仮勘定	1,784,586	3,515,235
有形固定資産合計	3,138,666	4,844,737
無形固定資産		
のれん	82,712	67,520
ソフトウェア	5,526	5,109
その他	17,352	38,090
無形固定資産合計	105,591	110,719
投資その他の資産		
長期貸付金	100,000	100,000
長期前払費用	3,438	-
繰延税金資産	1,311	-
その他	8,263	13,524
投資その他の資産合計	113,013	113,524
固定資産合計	3,357,271	5,068,981
資産合計	11,956,402	11,046,805
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	10,197	31,578
未払金	57,004	22,066
未払費用	247,574	85,160
未払法人税等	729,304	-
前受金	472,955	316,645
預り金	62,510	8,978
資産除去債務	-	15,600
その他	118,499	109,637
流動負債合計	1,698,045	589,667
固定負債		
資産除去債務	15,600	-
繰延税金負債	-	2,575
固定負債合計	15,600	2,575
負債合計	1,713,645	592,242

(単位：千円)

	前事業年度 (平成28年6月30日)	当第3四半期会計期間 (平成29年3月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,630,183	3,870,769
資本剰余金	3,626,465	3,867,051
利益剰余金	2,980,857	3,145,369
自己株式	-	△430,869
株主資本合計	10,237,505	10,452,320
新株予約権	5,250	2,242
純資産合計	10,242,756	10,454,562
負債純資産合計	11,956,402	11,046,805

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
売上高	2,681,491	1,417,349
売上原価	660,459	696,963
売上総利益	2,021,032	720,386
販売費及び一般管理費	479,723	612,486
営業利益	1,541,308	107,899
営業外収益		
受取利息	1,730	1,017
為替差益	-	45,969
業務受託料	-	86,665
その他	161	27
営業外収益合計	1,892	133,679
営業外費用		
株式交付費	1,547	1,713
為替差損	85,638	-
営業外費用合計	87,185	1,713
経常利益	1,456,015	239,865
特別損失		
固定資産除却損	5,590	287
特別損失合計	5,590	287
税引前四半期純利益	1,450,424	239,577
法人税、住民税及び事業税	606,023	2,850
法人税等調整額	△132,656	72,215
法人税等合計	473,366	75,065
四半期純利益	977,058	164,512

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成27年7月1日 至平成28年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成28年7月1日 至平成29年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,450,424	239,577
減価償却費	91,031	131,664
のれん償却額	13,504	15,192
受取利息及び受取配当金	△1,730	△1,017
為替差損益(△は益)	58,018	△16,857
株式交付費	1,547	1,713
固定資産除却損	5,590	287
売上債権の増減額(△は増加)	△955,246	1,336,706
前払費用の増減額(△は増加)	△10,824	△4,722
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,046	21,380
未払金の増減額(△は減少)	58,454	△25,399
未払費用の増減額(△は減少)	△10,520	△162,413
前受金の増減額(△は減少)	474,815	△156,310
預り金の増減額(△は減少)	△26,701	△53,531
その他	151,301	△35,982
小計	1,298,618	1,290,288
利息及び配当金の受取額	1,969	1,017
法人税等の支払額	△733,130	△1,161,937
営業活動によるキャッシュ・フロー	567,457	129,367
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の純増減額(△は増加)	1,200,000	-
有形固定資産の取得による支出	△315,938	△1,847,197
無形固定資産の取得による支出	△3,413	△20,738
事業譲受による支出	△105,000	-
その他	△8,263	△4,699
投資活動によるキャッシュ・フロー	767,385	△1,872,635
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
新株予約権の行使による株式の発行による収入	1,072,480	476,449
自己株式の取得による支出	-	△430,869
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,072,480	45,580
現金及び現金同等物に係る換算差額	△58,018	16,857
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,349,303	△1,680,830
現金及び現金同等物の期首残高	4,679,619	6,909,149
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,028,923	5,228,319

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。